

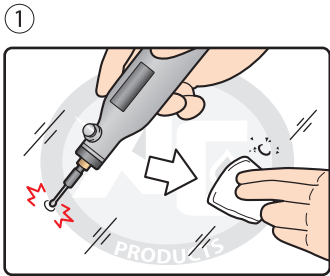


AMECHEMI

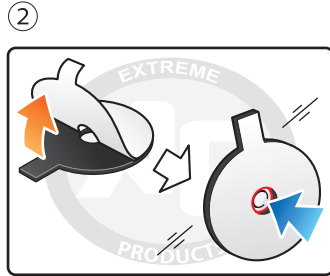
Windshield Repair System

作業手順

1：工具取り付け作業 (①～⑩) (作業時間約 5 分)



ドリルビット(電動)にて傷(衝撃点)の詰まりを取り除き、**レジン液の通り道**を確保します。切粉を除去してから次の工程へ。



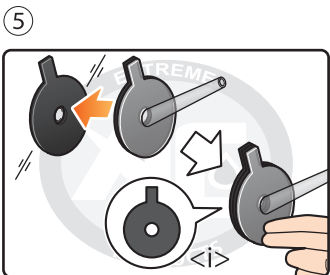
粘着シールの裏側を剥がし①で確保した液充填道にシール穴を合わせて**タブが上**になるよう貼って下さい。



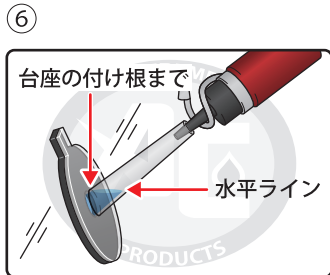
シールの**表貼り**を剥がす。



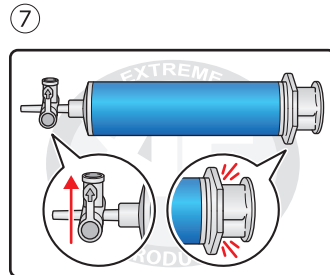
台座の**裏貼り**を剥がす。



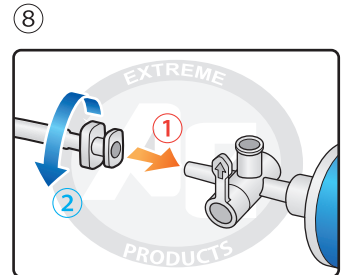
台座をシールに**貼り合わせる**。全体を指で軽くなぞって**完全に密着**させて下さい。貼り合わせて車内より確認すると<i>図</i>の様に見えます。



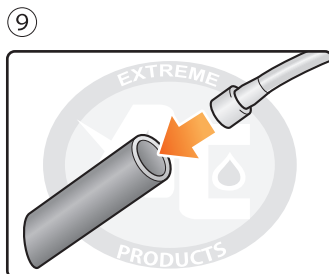
容器の注入口を台座に差し込み、**レジン液が水平ライン**(上図)に来るまで注入する。



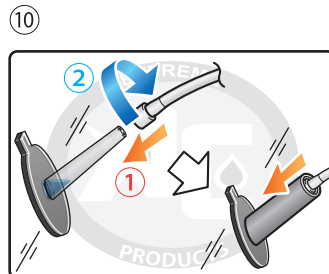
バルブが直立の位置にあり、**プランジャーが最後まで押しこまれている**ことを確認する。



ポンプにホースを取り付ける。



紫外線カバーにホースを通す。



ホースを台座に取り付けて時計回りに締める。
紫外線カバーを台座に被せる。

裏面へ⇒



旭エンジニアリング株式会社

<https://www.asahi-engineering.com/>

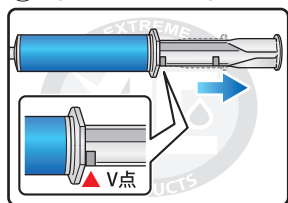
〒553-0002 大阪市福島区鷺洲 4-4-3

TEL : (06)6452-5811

FAX : (06)6452-5770

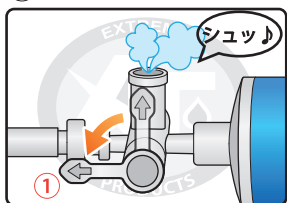
2：真空引き作業 (※①⑪～⑳) (同じ作業を3回行います)

⑪ (1回目の真空)



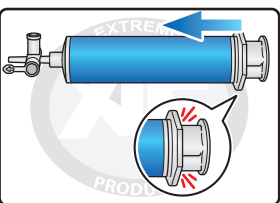
ポンプのプランジャーをV点の切り込みまで引きロックする。

⑫



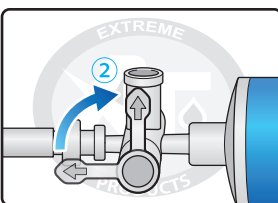
バルブを横に倒して(①の状態) 空気を抜く。

⑬



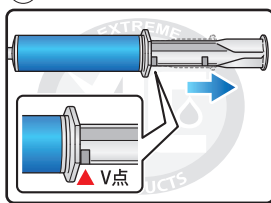
ポンプのプランジャーを最終まで押しこむ。

⑭



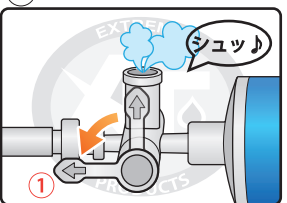
バルブを起こす(②の状態)。

⑮ (2回目の真空)



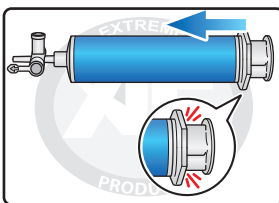
ポンプのプランジャーをV点の切り込みまで引く。

⑯



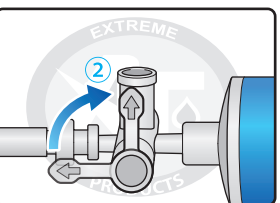
バルブを横に倒して(①の状態) 空気を抜く。

⑰



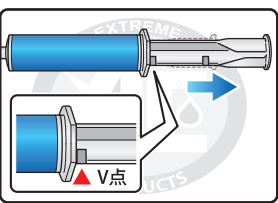
ポンプのプランジャーを最終まで押しこむ。

⑱



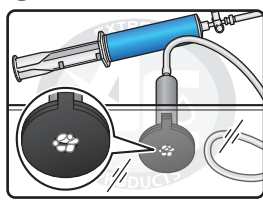
バルブを起こす(②の状態)。

⑲ (3回目の真空)



ポンプのプランジャーをV点の切り込みまで引く。

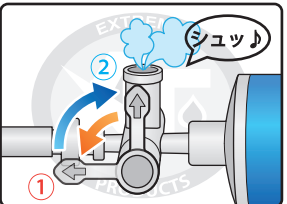
⑳



気泡が見えたらすぐに圧入作業開始。

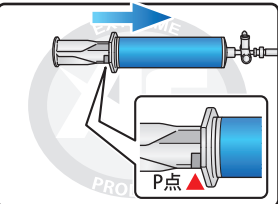
3：圧入作業 (⑰～⑲) (作業時間 10分以上)

⑰



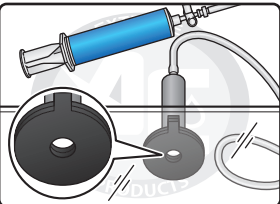
バルブを横に倒して、すぐにバルブを起こす。この作業を空気音が出なくなるまで繰り返す。音が消えたら最終バルブを起こす。

⑱



プランジャーをP点切込みまで押しこみロックする。

⑲

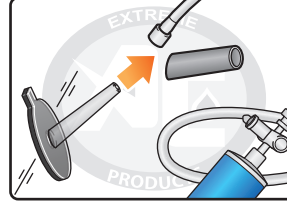


この状態で**10分以上**待つ。

※車の内側から見て傷が残っている場合、再度真空引き⇒圧入を繰り返してください。

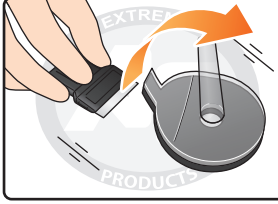
4：硬化・仕上作業 (⑳～㉔) (作業時間 5分以上)

⑳



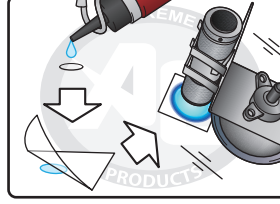
すべての器具を外す。

㉑



ブレードホルダーで台座・シールを剥がす。

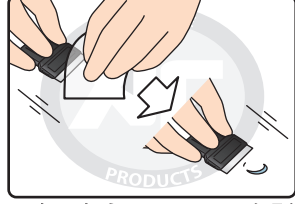
㉒



仕上げレジンを一滴たらしフィルムで遮断後、紫外線ライトを

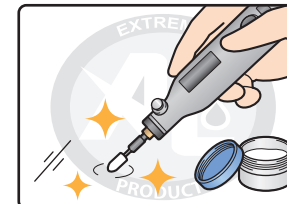
5分以上照射し固める。

㉓



固まったら、フィルムを剥がし余分な部分をブレードホルダーで削り落とす。

㉔



仕上に超微粒子研磨剤で磨く。